

令和3年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



令和2年7月10日

上場会社名 株式会社ブロッコリー

上場取引所 東

コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

四半期報告書提出予定日 令和2年7月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年2月期第1四半期の業績(令和2年3月1日～令和2年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第1四半期	1,275	△0.4	243	294.5	252	316.3	173	313.2
2年2月期第1四半期	1,279	3.6	61	△47.7	60	△47.4	41	△40.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第1四半期	19.83	—
2年2月期第1四半期	4.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年2月期第1四半期	10,489	9,399	89.6
2年2月期	10,737	9,453	88.0

(参考)自己資本 3年2月期第1四半期 9,399百万円 2年2月期 9,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
3年2月期	—	—	—	—	—
3年2月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和3年2月期(予想)の配当性向は、37.9%となります。

3. 令和3年2月期の業績予想(令和2年3月1日～令和3年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	12.7	900	32.2	930	32.2	600	58.6	68.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年2月期1Q	8,747,642 株	2年2月期	8,747,642 株
② 期末自己株式数	3年2月期1Q	372 株	2年2月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年2月期1Q	8,747,270 株	2年2月期1Q	8,747,270 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。
- 2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。
- 3.当社は、令和元年8月30日に株式会社LANTERN ROOMSの株式を100%取得したことに伴い、同社を子会社化しておりますが、資産、売上高、損益、利益剰余金に及ぼす影響が僅少であり、現時点では重要性が乏しいため、非連結子会社としております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、国内外の持続的なスマートフォンゲーム市場の成長・国内家庭用ゲーム市場の順調な拡大を背景に、ゲームコンテンツ市場と関連するキャラクター市場は、世界的にも長期的に高成長が続くと見込まれておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い世界経済の悪化も懸念され、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当第1四半期累計期間（自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日）における当社の経営成績概況は、以下のとおりであります。

『うたの☆プリンスさまっ♪』におきましては、昨年6月より公開された『劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEキングダム』（製作委員会運営）の収益配分が当第1四半期において全て行われたことにより、売上高・売上総利益に多大に寄与しております。

関連グッズにおきましては、本年2月から開催のイベント『うたの☆プリンスさまっ♪「Another World～WHITE&BLACK～」』が2月末にて会期中で終了になったことに加え、本年6月に10周年記念企画の発表を控えた時期となり、前年同期を下回り推移いたしました。本年は7月より10周年を記念し、ST☆RISH・QUARTET NIGHT・HE★VENS が一堂に会したスペシャルコンセプトショップ「All Star Shop」を、感染予防及び拡散防止措置を講じることを前提に原宿・名古屋・大阪・福岡の4都市にて開催予定としております。

関連ゲームソフトでは、Nintendo Switch（ニンテンドースイッチ）への参入ソフト第2弾『うたの☆プリンスさまっ♪Amazing Aria&Sweet Serenade LOVE for Nintendo Switch』を5月に発売。売上高・売上総利益ともに好調な結果となりました。

関連ゲームアプリ『うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live』の売上は、前年同期を下回り推移しました。

関連CDでは、『うたの☆プリンスさまっ♪「Another World～WHITE&BLACK～」』のテーマソングを4月に発売、前年同期を大きく上回る売上高・売上総利益となりました。また、5月より当社人気タイトル等の楽曲をサブスクリプション（サブスク）方式にて配信しております。

他社ライセンスグッズは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、他社開催のライブイベント等が延期や中止となったことから、売上高・売上総利益ともに前年同期を下回りました。

他社ライセンスフィギュアにおきましては、生産委託先の中国工場の再稼働に伴い、入荷も順調に行われた結果、好調な売上高・売上総利益を確保することができました。

トレーディングカードゲーム『Z/X -Zillions of enemy X-（ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス）』（以下、『Z/X（ゼクス）』）は、4月に発売したブースターパック『異界探訪編（コード：ドリームワールド） 夢装<アイデアライズ>』より新システム「ゲート」「アイデアライズ」を搭載、5月に竜の巫女たちの「ゲート」「アイデアライズ」が登場するエクストラパック『もえ♡ドラ』を発売したことで、カードゲームファンの人気を集めたことにより、前年を大きく上回る売上高・売上総利益となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,275百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益243百万円（同294.5%増）、経常利益252百万円（同316.3%増）、四半期純利益173百万円（同313.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は7,931百万円で、前事業年度末に比べ297百万円減少しております。主な内容は、仕掛品の増加46百万円、映像コンテンツの増加2百万円、その他の増加59百万円などの増加要因に対し、現金及び預金の減少245百万円、売掛金の減少158百万円、商品及び製品の減少3百万円などの減少要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2,557百万円で、前事業年度末に比べ48百万円増加しております。主な内容は、無形固定資産の増加63百万円などの増加要因と、有形固定資産の減少11百万円などの減少要因

であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は975百万円で、前事業年度末に比べ222百万円減少しております。主な内容は、買掛金の減少111百万円、未払法人税等の減少50百万円、賞与引当金の減少16百万円、役員賞与引当金の減少19百万円などの減少要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は114百万円で、前事業年度末に比べ27百万円増加しております。主な内容は、退職給付引当金の増加30百万円などの増加要因と、役員退職慰労引当金の減少2百万円などの減少要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は9,399百万円で、前事業年度末に比べ54百万円減少しております。これは、四半期純利益173百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年2月期通期業績予想及び配当予定におきましては、本年2月19日発表数値からの変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している各イベント等の延期や中止情報を、業績予想に織り込んで算出しております。7月以降のイベント開催におきましては、新型コロナウイルス感染症防止のための開催自粛要請の有無等、不透明な点多々あります。今後、徐々に明確になった時点で業績にも織り込みながら、状況によりましては通期業績予想の変更を適時発表することを検討しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年2月29日)	当第1四半期会計期間 (令和2年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,883,807	6,638,519
売掛金	736,805	578,651
商品及び製品	156,626	152,820
仕掛品	310,185	356,624
原材料及び貯蔵品	2,748	2,756
映像コンテンツ	20,000	22,980
その他	121,828	181,763
貸倒引当金	△2,983	△2,346
流動資産合計	8,229,017	7,931,770
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,219,453	1,219,453
減価償却累計額	△262,315	△273,818
建物(純額)	957,138	945,634
土地	907,414	907,414
その他	137,952	142,094
減価償却累計額	△100,614	△104,889
その他(純額)	37,338	37,205
有形固定資産合計	1,901,891	1,890,254
無形固定資産	273,509	336,556
投資その他の資産		
その他	340,751	337,987
貸倒引当金	△7,546	△7,546
投資その他の資産合計	333,204	330,441
固定資産合計	2,508,605	2,557,252
資産合計	10,737,623	10,489,022
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,651	209,802
未払法人税等	139,807	89,691
返品調整引当金	78,073	74,719
賞与引当金	70,906	54,001
役員賞与引当金	19,000	—
その他	568,347	547,106
流動負債合計	1,197,786	975,322
固定負債		
退職給付引当金	23,618	54,586
役員退職慰労引当金	8,616	6,150
その他	54,465	53,893
固定負債合計	86,700	114,629
負債合計	1,284,487	1,089,952

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年2月29日)	当第1四半期会計期間 (令和2年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,275	2,361,275
資本剰余金	2,066,627	2,066,627
利益剰余金	5,024,586	4,970,581
自己株式	△781	△781
株主資本合計	9,451,707	9,397,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,428	1,367
評価・換算差額等合計	1,428	1,367
純資産合計	9,453,136	9,399,070
負債純資産合計	10,737,623	10,489,022

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年5月31日)
売上高	1,279,969	1,275,081
売上原価	839,898	707,766
売上総利益	440,070	567,315
販売費及び一般管理費	378,323	323,698
営業利益	61,747	243,617
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	258
不動産賃貸料	18,927	18,951
その他	9	1,429
営業外収益合計	18,936	20,639
営業外費用		
支払利息	88	41
不動産賃貸費用	20,041	12,165
その他	16	—
営業外費用合計	20,146	12,207
経常利益	60,538	252,049
税引前四半期純利益	60,538	252,049
法人税等	18,566	78,625
四半期純利益	41,971	173,424

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。